

いきいき中国

我もパソコン達者に

ホームページを作って旅行記を載せたり、撮った写真を加工したり。60歳を過ぎて習い始めたパソコンを使いこなして、生活を楽しむお年寄りが増えています。「難しそう」「インターネットは不安」と及び腰の人は、一歩踏み出して、世界を広げてみませんか。

仲間と通信

写真を加工



生きがい編

10月半ば、岡山県浅口市。「お待たせしました」。午後3時すぎ、木科菱作さん(78)が自宅でパソコン画面とマイクに向かって話しかけた。「2時からずっと待ってましたよ」と画面に映った男性が



インターネット電話「スカイプ」で東京都に住む友人と話す木科菱作さん＝岡山県浅口市

独学や教室、コツはゆっくり

笑って答えた。木科さんは毎日、インターネット電話「スカイプ」で全国各地の友人たちと連絡を取り合う。月々のインターネット接続料を払えば、何時間話しても通話料はかからない。東京都に住むこの男性は同世代の数人とはほぼ毎日話す仲だ。主な話題はパソコンの操作方法やプログラムの更新状況など。ハンガリーで日本人観光客のガイドをする男性など、日本通の外国人と話すこともある。

中学校の教師だった木科さん。現役時代はほとんどパソコンを使わなかったが、退職を機に雑誌を読むなどして独学で操作を覚え、約5年後には家族との旅行記や写真を載せたホームページを完成させた。



クラスメートの質問に答える安棟勝さん(右)＝広島県三原市

呼ばれるほどパソコンに詳しくなった。自分でハードディスク(記録装置)などの部品をつけ替え、月に数回は近所のお年寄りに教えにも行く。「パソコンがなければ出会わなかった人ばかりです」。さらに高齢の達人もいる。広島県三原市の小学校で開かれる市老人大学。10月初め、15人のお年寄りがノートパソコンを広げ、人や風景が写った2枚の写真を合成していた。「学生」の大半は70、80代だが、教えていたのは最年長の安棟勝さん(92)。不要な部分の消し方や、画像の位置の調整方法などを丁寧に説いていた。

安棟さんは重工業メーカーで設計者を務めたが、パソコンとは無縁だった。80歳近くで老人大学のパソコン講座に入り、マウスの操作など基本から習い始めた。カメラが趣味で、作品のコントラストや明るさの調整をできるように努力したからだ。「こわいものは知らずの性格なので、年齢は気にならなかった」

今は別々に撮影された2匹のコイの写真も、まるで一つの池で泳いでいるかのように合成できる。文章作成ソフトを使い、老人大学新聞を作ったこともある。「教わったことを忘れるし、キーボードはゆっくりしか打てないが、若者と違って時間はたっぷりありますから」と笑う。「焦らずゆっくり」が習得のコツのようだ。

ネット利用率…65～69歳60%▶80歳以上14%

「パソコンを使える人と使えない人の二極化が進んでいる」。そう話すのは、近藤則子さん(57)。高齢者向けのパソコン教室の開催などを支援する団体「老テク研究会」(東京)の事務局長で、総務省の情報通信審議会の委員を務める。

同省の2011年度の調査で、13～49歳の世代ではインターネットの利用率が9割を超えたが、65～69歳は60.9%、70～79歳は42.6%、80歳以上は14.3%と大きな差が出た。近藤さんによると、ここ10年で高齢者の利用率は増えたという。一方、「使えなくても困らない」「何から始めればいいのかわからない」とい

「こわがらず一歩を」

った理由で二の足を踏む人がいる。どこに住んでいても様々な情報入手できるのがインターネット。医療や介護の情報を得られるかどうかは「生活の質に影響する」と近藤さんは話す。ウイルス対策ソフトを入れ、怪しげなサイトには近づかないなど、「常識的な使い方をすれば大丈夫。こわがらず一歩踏み出して」と近藤さん。「困ったときに相談できる人を近所に見つけて」と言う。周りに頼れる人がいない時は、自治体の生涯学習施設や地域の公民館などに講座がないか問い合わせるといい。(南宏美)

記者より



原稿の執筆など記者の仕事に欠かせないパソコン。わからないことがあるとすぐ、電話一本で疑問に答えてくれる社内の部署に頼ってしまいがち。あまりにも基本的な質問に内心、あきれられているはず。木科さんたちを見習い、少しは自分で勉強しなければ、まずは「スカイプ」を始めます。(南)

- ・講座があることが多い場所
自治体の生涯学習施設や老人大学、公民館や老人会
- ・民間のパソコン教室
まずは無料体験に行ってみる
- ・NPO法人シニアネットひろしま(広島市)
http://www.seniornet-hiroshima.gr.jp/
メール=kodama-yoshi@a011.broad.jp
初心者向け講座(来年4月～)＝8回で8000円
- ・NPO法人シニアネット光(山口県光市)
http://sn-hikari.net/ 電話＝080・5759・2899
市などと共同で講座を開催。個別相談にも応じている